

# 令和2年度 尾去沢小学校 学校教育グランドデザイン

**秋田県教育が目指すもの**

**北の学校教育指導の重点**

- 確かな学力を身に付け、ふるさとを支えていこうとする強い気概をもった児童生徒の育成
- 主体的で創意に満ちた教育活動の推進
- 心豊かで、たくましい児童生徒を育む指導
- 基礎学力の向上を図る学習指導
- 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修

**学校教育目標**

**こころゆたかに ゆめをはぐくむ  
～かしこく うつくしく たくましく～**

**ふるさと尾去沢に笑顔と元気を発信する学校を目指して**

**鹿角市の教育目標**

心豊かで たくましく 郷土を愛し  
その発展に尽くす市民を育む教育を進める

**子どもにとって**

**かしこく**  
☆学びながら、夢や希望がふくらむ学校  
うつくしく  
☆人と関わりあいながら、よりよい生き方にふれられる学校  
**たくましく**  
☆体験活動を通して、心と体が鍛えられる学校

**保護者の願い**

- 学力の定着と向上
- 望ましい生活習慣の定着
- 思いやりの心の醸成
- 体験活動や交流機会の充実によるコミュニケーション能力の育成
- 健康な体づくりと体力の向上
- 危機回避能力の育成

## 目指す尾小の児童像

**かしこく**

**進んで学ぶ子ども**

- よく聞き、しっかり考え、進んで表現する子ども
- 学び方を身に付け、学んだことを生かして考える子ども
- めあてをもち、進んで家庭学習に取り組む子ども

**うつくしく**

**優しく礼儀正しい子ども**

- 自分から笑顔で明るいあいさつをする子ども
- 自他のよさと違いを大切にし、誰にでも優しくする子ども
- ふるさとに誇りをもち、地域の一人として活動する子ども

**たくましく**

**健康で粘り強い子ども**

- 約束やきまりを守り、何事も最後までやり抜く子ども
- 健康的習慣を身に付ける子ども（早寝早起き、手洗いうがい等）
- 好き嫌いせずに食べて、進んで運動する子ども

## 学校経営の重点

**1 確かな学力の定着と向上**

- まとめと整合する主体的な、学習課題・学習のめあてをもとにした探究型授業（見通しと振り返り、話し合いや学び合い等による「対話的な学び」、適切な言語活動）を日常的に積み重ねることによって、学力を高め、「問い」を発する子どもを育成する。
- 算数科において「数学的な見方・考え方を働かせた、深まりのある授業」について研究を推進することで、「主体的に学び、共に高め合い、分かる楽しさを実感できる子どもの育成」を目指す。
  - 「学習習慣スキル表」（保小中連携P）をもとにして学習規律の徹底を図り、「学び合う学級集団」を形成することにより、確かな学力の定着とさらなる向上を図る。
  - 一部教科専科や少人数学習・学習形態等の工夫を通して、全学年において個に応じた指導を充実させながら「学ぶ喜び」や「分かる楽しさ」を味わえるようにし、学習意欲を喚起する。
  - 「ユニバーサルデザイン」を取り入れ、どの子どももよく分かり、やりがいのある授業を実践する。

**2 心の豊かさとたくましさの育成**

- 「特別の教科 道徳」の時間を要とした「心の教育」を充実させることで、心の豊かさを培う。
- 「あいさつ」「合唱」「奉仕活動」への取組を支援し、自己有用感とプライド、情操を養う。
  - 児童が自分のめあてをもって体力づくりや健康習慣づくりに取り組めるように、環境整備や時間の確保、強調週間を設定する。
  - 読書によって「心豊かな子ども」を育てるために、図書室の整備や読書コーナーの設置、移動図書館活用、時間確保をする。

**3 ふるさと・キャリア教育の充実**

- 地域人材を通して地域素材で学ばせ、ふるさとへの愛着心を深める。（ふるさとへの愛情）
- ふるさと・キャリア教育で学んだことや経験したことを保護者や地域に発信する活動を充実させる。（専門性とネットワークの構築）
  - 職業を通して「夢」を意識させ、現在の自分の特性を把握しながら「なりたい将来の自分像」を思い描けるようにする。
  - 伝統を継承し、地域行事参加の機会をもつことで地域への所属感を高めさせる。

**4 深い教育愛と使命感、実践的指導力を高める教職員研修**

- 全職員が本校教育目標の実現に資するように、「学校の課題と重点の共有」と「経営参画意識の向上」、「人事評価目標と校務分掌のリンク」を図り、「PDCAサイクルを生かした取組」を推進する。
- 自らの教育実践をもとに長所と課題を明確にした上で、具体的な目標を設定し、積極的に研修を進めることで、教職員としての個々の指導力の向上に努めるようにする。
  - 情報教育、環境教育、食育等、社会の変化による教育課題の情報を共有し、研修を深める。また、本校の課題に対応するためにインクルーシブ教育システムや生徒指導の機能を充実させるとともに、校内研修の目的と内容を吟味して計画的に推進する。

**こころゆたかに ゆめをはぐくむ**  
 ～かしこく うつくしく たくましく～  
**ふるさと尾去沢に笑顔と元気を発信する学校を目指して**

学校経営の重点	具 体 的 な 取 組 等
<p><b>1. 確かな学力の定着と向上</b></p> <p>夢の実現に向かうための力を確実に身に付ける</p>	<p>①探究型授業による確かな学力の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容の分析による適切な「まとめ」、それと整合する具体的な「学習課題」「学習のめあて」の主体的な設定と教具の準備。</li> <li>・「見通し」と「振り返り」の習慣化、「話し合い」や「学び合い」等による「対話的な学び」の充実。 ※主体的な課題・めあて設定と対話的な学び合いで「深い学び」に。</li> <li>・ユニバーサルデザインの3つの視点による「どの子にも分かる授業」の一般化。</li> </ul> <p>②算数科研究による自己指導力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的に学び、共に高め合い、分かる楽しさを実感できる子どもの育成を目指し、数学的な見方・考え方を働かせ、思考が深まる授業づくり」について研究を進める。</li> <li>・算数科の研究推進によって、他教科の「深い学び」へも発展させる。</li> </ul> <p>③学習規律の徹底、授業と連動する家庭学習の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習規律の徹底(低学年ほど重視する)を図り、「学び合う学級集団」を形成することにより、確かな学力の定着とさらなる向上をめざす。</li> <li>・家庭学習の習慣化を支援することで、基礎的・基本的な内容の定着を図る。</li> </ul> <p>④一部教科専科制と少人数学習・学習形態等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数での学習(TT、習熟の程度、学習スタイル等による)の実施</li> <li>・一部教科専科制による学習意欲の喚起</li> <li>・学年交流・合同授業等、学習効果を上げる多様な学習形態の工夫</li> </ul> <p>⑤学習状況調査等の効果的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員による計画的「パワーアップタイム」の実施と結果分析に基づく早期の回復指導</li> </ul>
<p><b>2. 心の豊かさとたくましさの育成</b></p> <p>人生を豊かに生きる所作と心、それを支える生活習慣を身に付ける</p>	<p>①「道徳科の授業」の充実～重点とする内容項目を意図的・計画的に取り上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校重点内容項目「親切、思いやり」「個性の伸長」、各学団重点内容項目</li> <li>・「特別の教科 道徳」の充実(資料分析の研修、学習活動の工夫、外部人材活用等)</li> <li>・道徳コーナーの設置(学級道徳コーナーの工夫、校内掲示による道徳性の涵養)</li> </ul> <p>②「あいさつ」「合唱」「奉仕活動」への取組による情操の涵養</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「笑顔で明るいあいさつ」をいつでも、どこでも、誰にでもできる子どもを育てる取組</li> <li>・「きれいな歌声」を響かせ、豊かに表現することを楽しむ子どもを育てる取組</li> <li>・「誰かのための行動」が自然にできる子どもを育てる取組</li> </ul> <p>③望ましい生活習慣の形成～保小中連携プロジェクトの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康習慣を育成する取組と賞揚する機会の実施</li> <li>・朝マラソン・朝なわとびを中心とした体力づくりの取組と環境整備</li> </ul> <p>④読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読書タイム」(昼の帯状10分間)の取組工夫</li> <li>・読み聞かせ(委員会やボランティア、読み聞かせグループ、外部人材活用)</li> <li>・「おすすめの本」の紹介や「読書コーナー」の設置、図書室の整備、移動図書館活用</li> </ul>
<p><b>3. ふるさと・キャリア教育の充実</b></p> <p>体験を核としたふるさと・キャリア教育を通して、地域に根ざした夢をはぐくむ</p>	<p>①ふるさと・キャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域」に触れる活動(交流・調査・体験・発表)の充実、お便りやブログによる発信</li> <li>～6年修学旅行、5年自然体験、各学年校外学習、保小中連携プロジェクト等を核に～</li> <li>・地域の方々を指導者とする正課クラブの実施(7つのクラブ活動)</li> </ul> <p>②市民センターとの連携事業「ふれあひかなやまスクール」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域素材について地域の方々から学ぶ場の設定</li> <li>・センター事業・地域行事等への積極的な参加の呼びかけ(文化・スポーツ事業等)</li> </ul> <p>③「夢」や「思いやり」を育む諸活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ぼく・わたしの夢」掲示 ・社会科見学 ・5年生対象の「夢の教室」(市の事業)</li> </ul> <p>④伝統芸能の継承と地域行事への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かなやまソーラン」: 運動会、山神社祭典パレード、市民運動会、黄金流しソーマン</li> <li>・伝統芸能「からめ節」(保存会指導による運動会での披露、正課クラブでの継承)</li> </ul> <p>⑤地域活性化ソング「刻の翼」継承</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9年間の小・中合同合唱の取組と各所での披露(小・中児童生徒交流の促進)</li> </ul>
<p><b>4. 深い教育愛と使命感、実践的指導力を高める教職員研修</b></p> <p>教職員としての使命を自覚し、絶えず研究と修養に努める</p>	<p>①経営参画意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校教育目標と校務分掌内容との関連の明確化(学校評価とリンクする取組)</li> <li>・校務分掌と人事評価システム自己目標との関連づけ、PDCAサイクルを生かした取組</li> </ul> <p>②研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修、キャリア研修、自主研修への取組奨励</li> <li>・児童の課題に関わる研修の充実→子どもにとって「楽しい」「居場所のある」学校づくり</li> <li>様々な「問題」への早期の気付きと素早い初期対応、継続的支援(全職員による)</li> <li>家庭・PTA・地域・関係機関との連携(保護者の啓発、PTA組織や専門家の活用)</li> <li>「いじめ防止対策委員会」の機能充実</li> </ul> <p>③「尾去沢地区の子どもを育てる」という視点に立つ保・小・中連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保との連携(保育園での夏季研修、保職員の小1授業参観、年長への模擬授業)</li> <li>・中との連携(小中の授業参観交流、中学校体験入学)</li> <li>・児童クラブ・母子寮職員との連携(情報交換と話し合い:8月)</li> </ul>